

## 1-1 沿革

桜川市は、平成17年10月1日に旧岩瀬町、旧真壁町、旧大和村の2町1村が合併して誕生しました。八溝山系南端に位置する、筑波連山西麓に広がる田園地帯に、数多くの文化財と豊かな自然景観に彩られた、人口約4万4千の茨城県西部の美しい町です。

旧岩瀬町は、岩瀬盆地の中央を東西に貫流する桜川の周辺の低地や山麓の微高地に、大昔からの遺跡がたくさん分布しています。大化改新(645)以降中央地方の行政区が整備され、岩瀬地方は常陸国新治郡に入り、郡の役所(郡衙)が古郡(筑西市)に置かれ、郡寺の瓦は上野原で作られました。

古代(奈良・平安)岩瀬地方は、中郡といわれました。この頃東国の風雲児平将門が国府(石岡市)を攻め落とし関東の大半を占領しました。池亀の五大力堂は、将門伝承の遺跡です。平安時代末期から鎌倉時代の始めにかけて、岩瀬地方の有力土豪である中郡氏は、保元平治の乱には、源義朝に従って出陣しています。のち所領を蓮華王院(三十三間堂)に寄進して出来たのが中郡荘で、中郡氏はその現地支配にあたりました。のちに中郡氏の没落後は安達氏が支配し、以後北条氏から足利氏へと領主は移ります。

南北朝の争乱において中郡城は落城し、一時結城氏が支配しますが、のちの中郡荘は室町幕府の直轄領となります。また戦乱の続く時代に、芳賀氏によって鴨鳥五所神社(県指定)が造営されたり、世阿弥による謡曲「桜川」が作られています。

戦国時代に入ると、佐竹氏・結城氏・小山氏・多賀谷氏などの群雄が中郡内に進入し、互いに争います。町内には、中世の城館跡としての羽黒山城跡、岩瀬城跡、坂戸城跡、松田城跡、橋本城跡、富谷城跡などが所在します。

江戸時代になると、岩瀬地方の大部分が笠間藩領で、一部結城藩領と旗本知行地・天領に分けられます。

明治時代廃藩置県によって、笠間県(一部若森県・結城県)となり、のち茨城県西茨城郡に入り、明治22年(1889)町村制施行により西那珂村・北那珂村・東那珂村の三那珂が誕生し、また水戸線が開通し岩瀬駅、次に羽黒駅も開業しました。大正14年西那珂村は岩瀬町となり、昭和30年町村合併によって旧三那珂は新岩瀬町となりました。

旧真壁町は、北東に加波山、南東に筑波山を擁し、中央部を南流する桜川を境に、東には水田地帯、西には畑作地帯が広がります。常陸国の国府(現石岡市国府)と新治郡衙(現筑西市古郡)を結ぶ古代の交通路が東西に走り、古代の重要な遺跡も多く残っています。真壁という名は、白髪王と呼ばれた清寧天皇の領地「白髪部」に遡るとされ、1,500年以上の歴史を持ちます。平安時代の初めには白壁郡から真壁郡となり、平安時代の終わりには平長幹が旧真壁町から旧大和村を支配し、地名の真壁を名字として、真壁氏と呼ばれるようになりました。以後、鎌倉時代には幕府の御家人として遠国へも転戦し、南北朝時代から室町時代には、一族の分裂や落城をも経験しながら、戦国時代の終わりまで真壁の領地を守りました。その本拠であった真壁城は、江戸時代には廃止されますが、遺構がよく残り、国指定史跡として発掘調査と整備が

行われています。戦国時代が終わると、真壁氏は角館（秋田県仙北市角館町）に移り、真壁地区は江戸時代には浅野氏の領地となりました（真壁藩）。浅野氏が笠間に移ると、真壁藩のうち主に桜川より東は笠間藩の一部となり、西は天領・旗本領となりました。浅野氏はさらに赤穂藩（兵庫県赤穂市）へ移って、忠臣蔵で知られる赤穂浪士の事件となります。さて、真壁城は廃止されて町の中央に御陣屋が置かれました。真壁氏が作った城下町は、浅野氏によって陣屋町へと変更されて完成し、商人が中心の町として地方経済の核となりました。商売は、大阪平野から岡崎平野にかけて栽培される良質の木綿を、会津や米沢など東北地方の商人に売り捌く木綿市が中心で、後には地元の木綿や絹、米などの穀物、酒や醤油など様々な商品が取り引きされました。明治時代に入ると、町の有力な商人たちが中心となって真壁銀行を設立して資本を整備し、水力発電や製糸、鉄道など近代化に必要な事業を次々と手がけてゆきます。東宮御所（現在の迎賓館）建設などを契機として普及する火薬砕石と鉄道開通によって、加波山を中心とする大規模石材産業も成立しました。明治22年の町村合併では、かつての真壁氏の領地を中心に真壁町、紫尾村、谷貝村、樺穂村が成立し、昭和30年には4町村を中心に合併して新たな真壁町が誕生しました。真壁氏と浅野氏によって作られた城下町の町割りは、江戸時代から明治、大正、昭和、平成と引き継がれ、そこに木綿市を中心に栄えた商家の立派な建物が登録有形文化財として数多く残り、町の中心部は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。住民の方々によってこの伝統的な町並みを活かしたまちづくりが進められ、平成15年から始まった真壁のひなまつりでは、10万人を超える人々が、伝統的な文化財の町並みと、趣向を凝らした雛人形を見学し、町の人々との交流を楽しんでいます。

旧大和村は、古墳時代を経て大国玉七井などの井戸を中心に農耕が発展し、8世紀には真壁郡の名が史書に現れて、大国玉神社なども創建されています。10世紀に入ると平将門の乱が起き、后神社、将門の墓など平将門にまつわる地名、遺跡、伝説などを多く残しました。

鎌倉時代からは、小栗氏、真壁氏が当地を長く治めることとなります。15世紀の中頃、古河公方、足利成氏によって小栗氏は滅ぼされましたが、真壁氏は久幹（道無）などの武運が強く、北条氏滅亡の後、常陸を支配した佐竹氏の傘下となりこの地を治めることとなります。しかし、関が原の戦いで佐竹氏が、徳川方に積極的に加わらなかったために滅封されて秋田に去りました。徳川幕府が成立すると、藩主の交代は引き継ぎましたが、明治まで笠間領だった雨引地方のほかは、大国地方などのように藩領、天領、旗本領、社寺領等に細分化されて治められました。

江戸中期になると村方騒動、百姓騒動などが起こり、用水の不便などもあって青木村などでは疲弊の色が濃かったものの、青木堰を築いた二宮尊徳の尽力で荒廃から救われました。また、この時代、当地からは、赤穂義士の一人、勝田新左衛門、雨引山中興の租、恵岳、加波山禅定中興の租、金敷五助などを輩出しています。幕末の動乱期には、尊攘派の志士、大和田外記たちが参加した筑波山義挙などが起こり、明治維新を迎えました。

明治半ば頃までには小村の合併が進み、雨引村と大国村が誕生し、昭和29年に二つの村が合併して大和村が誕生しました。

## 1-2 市のあゆみ

西 暦	年 月	主 な 出 来 事
1954	昭和29年	真壁町、紫尾村、谷貝村、樺穂村と長讃村の一部が合併し新真壁町が誕生 雨引村と大和村の二ヵ村合併により大和村が誕生
1955	昭和30年	旧岩瀬町、北那珂村、東那珂村が合併し岩瀬町が誕生／大月～木植林道工事完了 真壁町新町5ヵ年計画策定／真壁町第1回町民体育大会開催 大和東小学校校舎新築
1956	昭和31年	真壁町社会福祉協議会誕生 岩瀬町議会選挙／上野沼土地改良区区画整理完成／岩瀬町役場北部支所、東部支所廃止 羽黒小学校校舎改築工事完成
1957	昭和32年	真壁南中学校開校 岩瀬町立国保病院建設工事完成／羽黒小学校上城分校廃止／金山林道工事完成 岩瀬～亀岡線(大岡～亀岡地内)工事完成／岩瀬町保育所建設工事完成
1958	昭和33年	桃山中学校、桜川中学校両校舎完成 岩瀬町団体加入電話組合通話開始／岩瀬～亀岡線(大岡地内)新設工事完成 岩瀬町青年研修所建設工事完成／富谷林道工事完成 大和村新庁舎落成
1959	昭和34年	県知事、県議会議員選挙 岩瀬町外1市2ヵ村防疫組合立伝染病隔離病舎建設工事完成 国道岩瀬地内舗装工事一部完成 岩瀬町長選挙及び議会議員補欠選挙 無競争／岩瀬町農業委員選挙 門毛大橋架設工事完成／上城林道工事完成 第2回大和村議会議員選挙執行／大和村道羽田～青木線、本木茂賀橋架替工事竣工 大和村マッシュルーム組合で栽培施設竣工
1960	昭和35年	岩瀬町議会議員選挙執行 定員30名 磯部前土地改良区区画整理完成／岩瀬小学校校舎増築工事完成 岩瀬～南飯田線新設工事完成／大泉堀之内窯群が茨城県重要文化財の指定を受ける 真壁町塵芥焼却場完成
1961	昭和36年	真壁町塙世石材団地操業開始 岩瀬中学校校舎増築工事完成／梅雨前線停滞で岩瀬地方が集中豪雨をうけ災害救助法が適用される／岩瀬町役場新庁舎完成／岩瀬町母子健康センター完成 大和村青年研修所竣工
1962	昭和37年	真壁町母子健康センター完成 岩瀬町営住宅ますみ・十枚内団地20戸完成／大泉堀之内林道完成 羽黒小学校増改築工事完成 大和村東・西中学校が統合され「大和中学校」となる
1963	昭和38年	県議会で県立岩瀬高校設立決議 県立岩瀬高等学校建設開始 大和村統合中学校第一期工事竣工／第3回大和村議会議員選挙執行
1964	昭和39年	筑波山ユースホステル完成 西小塙～羽黒停車場線、羽黒橋完成／県立岩瀬高校開校／岩瀬東部保育所新築完成 岩瀬北部保育所改築完成／筑北環境衛生組合結成／鍛田橋架工事完了 大和村統合中学校第二期工事竣工
1965	昭和40年	真壁町谷貝小にプール完成 国保病院看護婦宿舎完成／岩瀬東部公民館完成／岩瀬町農集電話開通 雨引・大和農業協同組合が合併、大和村農業協同組合となる 大和中学校校舎竣工／阿部田橋新設
1966	昭和41年	筑北環境衛生組合し尿処理場完成／岩瀬和合橋永久橋として完成

西 暦	年 月	主 な 出 来 事
1967	昭和42年	真壁中央公民館完成 真壁小学校、紫尾小学校にプール完成 大和村東保育所竣工／雨引保育所開設 県西総合病院組合設立／岩瀬～本郷線外7路線の町道舗装完成／岩瀬町体育館完成 筑ろく地方学校給食組合設立／樺穂小学校にプール完成 第4回大和村議会議員選挙執行 定員16名
1968	昭和43年	大和西小学校校舎新築／高久幼稚園開設 県西総合病院が完成／岩瀬町議会議員選挙執行 岩瀬町、北那珂、東那珂3農協が合併し、岩瀬町農協発足 大和中学校屋内運動場竣工／大和村交通対策協議会発足
1969	昭和44年	筑西火葬場組合設立 岩瀬町南端が水郷筑波国定公園に指定される 加波山足尾山系が水郷国定公園に編入 岩瀬小学校プール建設工事完成 笠間市に至る大月林道完成
1970	昭和45年	雨引小学校に水泳プール完成／大和村開発協会設立 筑西火葬場完成／上野沼北側の観光道路完成／岩瀬町学校給食センター完成 大和村青木公民館完成
1971	昭和46年	大國小学校に水泳プール完成 岩瀬町予算10億円の大台突破 老人福祉センター「あまびき」完成(下館地方広域市町村圏事務組合＝2市5町1村) 坂戸小学校及び東中学校桜丘教場にプール完成／西中学校永久校舎完成
1972	昭和47年	第5回大和村議会議員選挙執行 真壁町に県営ライフル射撃場完成／真壁町浄水場完成 県西総合病院第2病棟完成／岩瀬東中学校永久校舎完成／岩瀬町土地開発公社設立 岩瀬町体育館でNHKのど自慢が開かれる
1973	昭和48年	大和村役場新庁舎完成 町営簡易水道が完成し岩瀬地区通水／岩瀬町土地開発公社設立 雇用促進住宅岩瀬宿舎が青柳地区に完成／羽黒中学校跡地に土浦日大高校を誘致 岩瀬町立西中学校体育館完成
1974	昭和49年	元岩瀬へ県営住宅完成 真壁町役場新庁舎完成／県道下館・真壁線バイパス開通／茨城国体秋季国体開催 「桜川のサクラ」が国の重要文化財に指定される／岩瀬町営グラウンド竣工 岩瀬町立東中学校体育館、北部保育所、岩瀬消防署庁舎完成 土浦日本大学高等学校岩瀬校舎開校／岩瀬町合併20周年記念式典を体育館で挙行
1975	昭和50年	大和村立幼稚園竣工 岩瀬町松田田園都市センター完成 真壁石材谷貝団地完成／真和土地改良区設立
1976	昭和51年	第6回大和村議会議員選挙執行 岩瀬町中央公民館が完成／岩瀬北部地区簡易水道工事完工 雨引小学校・大國小学校体育館新築
1977	昭和52年	岩瀬東部地区県営ほ場整備事業始まる 水戸地方法務局岩瀬出張所が下館地方法務局下館出張所に統廃合となる 雨引小・大國小に屋内運動場が完成／大和村羽田地区に公民館完成
1978	昭和53年	岩瀬町立西中の特別教室とプール、羽黒小と南飯田小に体育館完成 西小埴児童公園竣工／岩瀬町坂戸地区簡易水道工事完工 真壁町営農センター竣工／真壁町歴史民俗資料館開館
1979	昭和54年	大和村民運動場完成／第1回大和村村民祭開催 真壁町民体育館完成／霞ヶ浦用水事業着工

西 暦	年 月	主 な 出 来 事
1980	昭和55年	岩瀬小永久校舎、坂戸小体育館、東中プール、岩瀬保育所完成／岩瀬駅開業90周年を迎える第7回大和村議会議員選挙執行 大和村民プール完成／大和村東飯田公民館完成 岩瀬町保健センター完成／岩瀬小塩地区簡易水道工事が完工 岩瀬町役場第2庁舎完成／岩瀬小・猿田小体育館が完成／国道50号バイパス全線開通 やまと保育所開設
1981	昭和56年	真壁町保健センター完成 岩瀬西中武道館、東中武道館完成／桜川運動公園野球場が完成 筑西地域職業訓練センターが岩瀬町に完成 大和村中央公民館完成
1982	昭和57年	真和土地改良区ほ場整備事業完了／真壁町農業者トレーニングセンター完成 岩瀬町立猿田小にプール、坂戸幼稚園、坂戸小の永久校舎完成 岩瀬駅前土地区画整理組合設立／岩瀬西部土地改良事業竣工 第8回大和村議会議員選挙執行
1983	昭和58年	岩瀬町営住宅畷田団地完成／今泉農村公園、上野沼公園広場、テニスコートが完成 大和村総合体育館完成／広域消防大和分署が開設 真壁町観光協会発足／桃山中、桜川中にプール完成 大和村高久スポーツ公園開設
1984	昭和59年	岩瀬町北部地区簡易水道拡張工事竣工／南飯田小、永久校舎完成 岩瀬町独自でコンピュータを導入／岩瀬町西飯岡農村集落センター完成 岩瀬東部地区土地改良事業が竣工 真壁町文化協会発足
1985	昭和60年	岩瀬町合併30周年記念式典を挙げる 岩瀬町立羽黒小永久校舎完成／岩瀬町営住宅金井団地完成 真壁町シルバー人材センタースタート／真壁町防災行政無線開局 雨引小学校新校舎完成／大和村体力増進センター竣工
1986	昭和61年	岩瀬町第1回町民祭開催
1987	昭和62年	磯部桜川公園整備完成／上野沼やすらぎの里オープン／岩瀬北部土地改良区竣工 大和村立大国小学校舎新築工事竣工／大和村高久地区に農村集落センター完成 大和村「いこいの家」完成
1988	昭和63年	筑波鉄道が廃線 岩瀬町立猿田小永久校舎完成／岩瀬町高齢者センター完成 JR水戸線岩瀬－新治間に「大和駅」誕生
1989	平成 元年	水戸線開業100周年／岩瀬東部保育所改築 岩瀬町に北関東自動車道インター建設決定
1990	平成 2年	岩瀬町農村情報無線開局／明日香公園完成
1991	平成 3年	県道筑波・益子線、酒寄バイパス開通 岩瀬ラブロード50「石匠のみち」完成／岩瀬駅前土地区画整理事業が竣工 岩瀬町立東・西中学校にコンピュータシステム導入／岩瀬町営温水プール「サンパル」オープン 岩瀬町営住宅ますみ団地完成(48戸)
1992	平成 4年	県西総合病院手術棟完成／岩瀬町社会福祉協議会法人設立10周年 つくば真壁工業団地完成／真壁総合福祉センター完成
1993	平成 5年	つくし湖完成 岩瀬町大泉農村集落センター完成
1994	平成 6年	岩瀬町農村環境改善センター完成／岩瀬町中央児童館完成 岩瀬町総合体育館「ラスカ」完成／岩瀬町議会だより創刊
1995	平成 7年	真壁石灯籠が国の伝統工芸品指定 岩瀬町合併40周年記念式典を挙げる／大川土地改良事業竣工

西 曆	年 月	主 な 出 来 事
1996	平成 8年	温水プール「サンパル」入場者10万人到達／岩瀬町営住宅犬田団地完成(24戸)
1997	平成 9年	岩瀬町第3次総合計画後期基本計画策定／富谷山ふれあい公園オープン 岩瀬町総合福祉センターオープン／岩瀬町福祉巡回バス運行開始 岩瀬町ホームページ開設
1998	平成10年	岩瀬町総合運動公園完成／南飯田地区農業集落排水竣工 ふるさと林道久原・富谷線開通／岩瀬町営住宅東十枚団地完成(18戸)
1999	平成11年	真壁町に登録文化財第一号誕生 岩瀬町に印鑑登録証明書オンラインシステム導入／上野沼に噴水完成
2000	平成12年	りんりんロード休憩施設「真壁駅」完成 岩瀬町内全域でゴミの集団分別収集・リサイクル開始
2001	平成13年	岩瀬町第4次総合計画策定
2002	平成14年	つくばりんりんロード全線開通 岩瀬町土地改良区が合併／温水プール「サンパル」入場者30万人到達
2003	平成15年	蔵の町「真壁のひなまつり」開催／岩瀬町・真壁町・大和村で合併協議会を設置 岩瀬町公共下水道の整備始まる／筑西遊湯館オープン
2004	平成16年	第9回合併協議会で新市の名称を「桜川市」と決定
2005	平成17年	10月1日桜川市誕生 10月30日初代桜川市長として中田裕氏就任
2006	平成18年	北関東自動車道路岩瀬トンネル貫通 「つくば」ナンバーが導入される 桜川市議会議員選挙
2007	平成19年	北関東自動車道路大政山トンネル貫通 ねりんピック茨城2007が開催 桜川市は「ソフトボール交流大会」
2008	平成20年	桜川市の「市民憲章」「花・木・鳥」が決定 桜川市デマンド型乗合タクシー運行開始 北関東自動車道路 桜川筑西IC～笠間西IC間が開通 第15回優秀観光地づくり「金賞総務大臣賞」受賞 第23回国民文化祭・いばらき2008開催(ストーン文化フェスティバル・筑波嶺と万葉文化フェスティバル)
2009	平成21年	大和中学校新校舎完成 桜川市子育て支援センター開設 岩瀬駅前整備事業完成 桜川市長・議会議員補欠選挙
2010	平成22年	真壁地区の町並みが国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定される 桜川市が「地域づくり総務大臣表彰」受賞
2011	平成23年	東日本大震災 第17回 全国報徳サミット開催 真壁伝承館開館
2012	平成24年	桜川市Facebookページ開設 第7回まち交大賞受賞
2013	平成25年	大塚 秀喜市長就任

## 1-3 位置

桜川市は、首都圏から約70km圏内にあり、市の中心は東経140度5分、北緯36度19分で茨城県の中西部に位置し、東西は約14km、南北は約20kmで総面積は179.78km<sup>2</sup>となっています。

北は栃木県(真岡市、益子町、茂木町)、東は笠間市・石岡市、西は筑西市・栃木県(真岡市)、南はつくば市と隣接しています。

地形は、北の富谷山・高峯山、東から南に雨引山・加波山・足尾山、筑波山と連なる山々に囲まれた平野部のほぼ中央を、市名の由来となった桜川が南下し、市の南北軸を形成しています。

また、市の北部を東西に国道50号線とJR水戸線、さらに北関東自動車道路が横断しています。

## 1-4 土地

平成25年1月1日現在

総面積(km <sup>2</sup> )	東 西(km)	南 北(km)	海 抜(m)	
			最 高	最 低
179.78	14	20	850	24

資料:税務課

## 1-5 地目別土地面積

桜川市

各年1月1日現在 単位:km<sup>2</sup>

年	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成18年	31.39	26.05	15.50	1.35	70.39	1.17	8.43	25.50
平成19年	31.42	26.01	15.58	1.35	69.42	1.16	8.39	26.45
平成20年	31.40	25.97	15.62	1.35	69.31	1.16	8.39	26.58
平成21年	31.16	25.71	15.71	1.35	68.84	1.15	8.46	27.40
平成22年	31.01	25.66	15.74	1.36	67.72	1.11	8.41	28.77
平成23年	31.00	25.64	15.77	1.36	67.22	1.12	8.45	29.22
平成24年	31.01	25.63	15.79	1.36	63.62	1.08	8.51	32.78
平成25年	31.00	25.60	15.83	1.36	63.61	1.09	8.52	32.77

資料:税務課

## 1-6 地価公示価格

(各年1月1日現在)(単位:円/㎡)

標準地	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	計画区分
友部字水代207番7	22,500	22,300	22,000	21,300	20,600	19,500	18,600	第1種住宅地域
明日香4丁目47番1	40,500	40,000	39,400	38,600	37,000	35,500	34,300	第2種低層住居専用地域
鉢田字向原553番58	24,300	24,000	23,600	23,100	22,600	22,100	21,600	第1種中高層住居専用地域
真壁町飯塚字三番 耕地128番6	26,500	25,300	23,800	22,500	21,000	19,400	18,500	第2種住宅地域
真壁町古城字大手 前563番4							16,400	第1種住宅地域
真壁町古城字大手 前188番地	21,000	20,300	19,500	18,600	17,500	16,400		第2種住宅地域
真壁町桜井字馬場 335番地1	22,200	21,400	20,500	19,400	18,300	17,400	16,600	第2種中高層住居専用地域
本木字西原 1225番地2	15,900	15,800	15,700	15,100	14,500	13,900	13,400	第1種低層住居専用地域
阿部田字清水頭 314番5	21,700	21,500	21,300	20,400	19,500	18,700	18,100	第1種住宅地域
岩瀬字山王195番1	40,000	38,700	37,600	36,200	34,700	32,700	31,100	商業地域
富谷字田宿1014番	6,810	6,810	6,810	6,800				市街化調整区域
長方字戸崎306番2	12,500	12,400	12,200	12,000	11,800	11,600	11,400	市街化調整区域
真壁町塙世字宮下 1465番地	12,000							市街化調整区域
真壁町椎尾字小萩 673番地	12,400	12,200	12,000	11,800	11,600	11,400	11,200	市街化調整区域
本木字久保488番3	11,100	10,900	10,700	10,400	10,200	9,950	9,750	市街化調整区域

資料: 国土交通省 土地総合情報ライブラリー

# 1-7 気象

年次	気温(°C)			降水量(mm)		風速(m/s)		日照時間
	平均 気温	最高 気温	最低 気温	合計	日最大	平均風速	最大風向	
平成14年	14.1	35.7	-6.7	1,027	77	2.4	西	1,659.4
平成15年	13.5	34.2	-7.9	1,281	63	2.2	西北西	1,412.8
平成16年	14.5	36.4	-7.5	1,441	171	2.5	西北西	1,790.1
平成17年	13.5	35.3	-9.0	924	61	2.3	西	1,953.9
平成18年	13.9	34.7	-11.0	1,479	82	2.3	西	1,650.3
平成19年	14.4	37.0	-5.0	1,067	65	2.4	南東	2,128.0
平成20年	14.1	35.2	-8.6	1,272.0	139.5	2.4	西北西	1,950.9
平成21年	14.4	34.2	-6.7	1,124.5	82.5	2.3	南	1,886.5
平成22年	14.7	37.0	-7.3	1,292.5	72.5	2.4	西北西	2,017.2
平成23年	14.2	36.1	-9.5	1,135.0	143.0	2.4	南	2,137.2
平成24年	13.8	36.1	-9.4	1,035.5	85.5	2.5	南	2,168.7
1月	1.2	11.2	-8.3	17.5	12.0	2.4	西北西	207.7
2月	2.6	13.7	-9.4	48.5	16.0	2.5	西北西	172.6
3月	6.4	20.2	-4.0	84.0	23.5	2.9	南	156.2
4月	12.1	25.5	-3.1	78.0	23.0	3.1	南	165.1
5月	17.8	27.2	6.1	232.0	85.5	2.6	南	201.7
6月	19.8	31.5	11.3	156.0	51.5	2.5	南	147.4
7月	25.0	36.1	16.6	71.0	12.5	2.4	南	170.9
8月	27.1	35.6	19.3	16.0	6.0	2.2	東	261.2
9月	24.1	33.9	14.3	121.5	27.5	2.6	南	175.1
10月	16.7	31.9	4.8	89.5	26.5	2.2	南	173.7
11月	9.0	21.2	-1.9	74.5	35.5	1.9	西北西	164.0
12月	3.6	18.0	-8.5	47.0	26.0	2.3	西北西	173.1

資料:水戸地方気象台

注1) 気温、風速、降水量は、「下館」地域気象観測所のデータです。

# 1-8 市民の暮らし

平成24年度

<p><b>人口密度</b> 1km<sup>2</sup>あたり 247.2人</p>  <p>H24.10.1</p>	<p><b>世帯人口</b> 1世帯あたり 3.25人</p>  <p>H24.10.1</p>	<p><b>出生</b> 1年間で 263人</p>  <p>H24</p>
<p><b>死亡</b> 1年間で 609人</p>  <p>H24</p>	<p><b>結婚</b> 1か月におよそ 13組</p>  <p>H24</p>	<p><b>離婚</b> 1か月におよそ 6組</p>  <p>H24</p>
<p><b>転入</b> 1日あたり 2.28人</p>  <p>H24</p>	<p><b>転出</b> 1日あたり 3.06人</p>  <p>H24</p>	<p><b>市税</b> 1人あたり 95,883円</p>  <p>H24</p>
<p><b>市の予算</b> 1人あたり 334,438円</p>  <p>H24</p>	<p><b>21年度市民所得</b> 1人あたり 2,206,000円</p>  <p>H21</p>	<p><b>市職員</b> 市民 106.2人に 1人</p>  <p>H24</p>

### 消防士

市民 667人に 1人



H24

### 医師

市民1,063人に1人

### 歯科医

市民1,523人に1人



H22

### 教員

教員 1人あたり

中学校 生徒数10.2人

小学校 児童数13.6人



H24

### 救急出動

1日あたり 4.4回



H24

### 火災

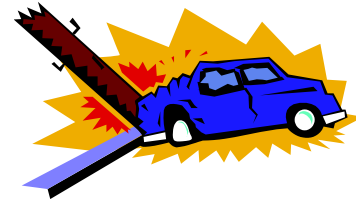
1ヶ月あたり 1.9件



H24

### 交通事故

1日あたり 0.41件



H24

### 刑法犯

1日あたり発生 0.95件

検挙 0.56件



H24

### ごみ処理量

1日あたり41.8 t



H24

### し尿処理量

1日あたり61 t



H24

### 商店数

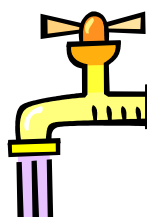
市民 86人に 1店舗



H19

### 水道配水量

1日あたり 11,411m³



H24

下水道供用開始区域における  
水洗化率 39.5%



H24

## 1-9 茨城県内での「桜川市」早わかり

分類	項目	指数値・実数値	県内順位	基準日
土地・人口	総面積	179.78km <sup>2</sup>	15位	平成24年10月1日
	可住地面積	105.19km <sup>2</sup>	16位	平成24年10月1日
	総人口	44,449人	27位	平成24年10月1日
	一般世帯人員(1世帯当たり平均人員)	3.25人	3位	平成24年10月1日
	人口密度(総面積1km <sup>2</sup> 当たり)	247.2人	34位	平成24年10月1日
	年少人口割合	12.35%	27位	平成24年10月1日
	生産年齢人口割合	60.84%	33位	平成24年10月1日
	老年人口割合	26.81%	15位	平成24年10月1日
	出生率(千人当たり)	5.87‰	37位	平成23年
	死亡率(千人当たり)	13.83‰	7位	平成23年
	1人暮らし老人数(65歳以上1万人当たり)	635.30人	27位	平成24年4月1日
	未婚率	20.09%	36位	平成22年
	外国人割合	0.61%	37位	平成23年12月31日
経済・財政	市町村内総生産	117,427百万円	32位	平成22年度
	製造品出荷額等(4人以上の事業所)	103,110百万円	27位	平成22年
	商品販売額	53,359百万円	28位	平成19年度
	小売事業所売り場面積	45,759m <sup>2</sup>	31位	平成19年6月1日
	就業構造(第1次産業)	7.53%	17位	平成22年10月1日
	就業構造(第2次産業)	36.71%	7位	平成22年10月1日
	就業構造(第3次産業)	53.61%	30位	平成22年10月1日
	財政力指数	0.471	36位	平成24年度
	実質公債費比率	12.7%	13位	平成23年度
	市町村民税(住民1人当たり)	41.58千円	39位	平成22年度
	固定資産税(住民1人当たり)	46.67千円	40位	平成22年度
歳出決算総額(住民1人当たり)	367.28千円	19位	平成22年度	
教育・文化	保育所数(10万人当たり)	15.45所	27位	平成23年4月1日
	幼稚園数(10万当たり)	11.20園	27位	平成24年5月1日
	公立小学校児童数(教員1人当たり)	14.49人	26位	平成24年5月1日
	公立中学校生徒数(教員1人当たり)	11.40人	35位	平成24年5月1日
	公立小・中学校長期欠席率 (児童・生徒千人当たり)	5.48‰	40位	平成23年度
	運動場広場数(10万人当たり)	13.30所	25位	平成23年10月1日
	衛星放送普及率	32.29%	18位	平成23年3月31日
居住・環境	水道普及率	92.90%	29位	平成24年3月31日
	生活排水処理普及率	64.51%	32位	平成24年3月31日
	下水道普及率	15.14%	40位	平成24年3月31日
	ごみ収集量(1人当たり)	647g	41位	平成22年度
	道路実延長(総面積1万km <sup>2</sup> 当たり)	90.50m	30位	平成23年4月1日
	市町村道路舗装率	46.30%	41位	平成23年4月1日
	自家用乗用車保有台数(千人当たり)	793.93台	16位	平成24年3月31日

分 類	項 目	指数値・実数値	県内順位	基準日
社会保障 ・医療	国民年金受給金額(受給権者1人当たり)	619.68千円	32位	平成23年3月31日
	生活保護被保護実人員(千人当たり)	5.25人	32位	平成23年度
	一般病院数(10万人当たり)	6.57所	11位	平成22年10月1日
	一般診療所数(10万人当たり)	45.98所	27位	平成22年10月1日
	医師数(10万人あたり)	89.77人	27位	平成22年12月31日
	看護師・准看護師数(10万人当たり)	847.33人	15位	平成22年12月31日
	歯科診療所数(10万人当たり)	54.74所	4位	平成22年12月31日
	歯科医師数(10万人当たり)	65.68人	11位	平成22年12月31日
	生活習慣病による死亡者数 (10万人当たり)	709.39人	9位	平成22年
	国民健康保険診療費 (被保険者1人当たり)	199,288円	29位	平成23年度
安全	火災出火件数(10万人当たり)	54.74件	11位	平成22年
	建物火災損害額(1人当たり)	1,718円	15位	平成22年
	交通事故発生件数(千人当たり)	3.28件	37位	平成23年
	交通事故死傷者数(10万人当たり)	450.06人	37位	平成23年
	刑法犯認知件数(千人当たり)	10.47件	28位	平成23年

資料：市町村早わかり